

大阪にふさわしい大都市制度について ～知事・市長案に対する意見～

大阪にふさわしい大都市制度推進協議会委員

民主党・無所属ネット大阪府議会議員団 幹事長 中村哲之助

OSAKAみらい大阪市議会議員団 政調会長 小林 道弘

【本意見について】

本意見は、第2回推進協議会において知事、市長から示された「大きな方向性」に対し、大阪にふさわしい大都市制度推進協議会の委員として、現時点での考え方をまとめたもの。

大都市制度に関する基本認識

【基本認識】

「大阪府自治制度研究会 最終とりまとめ」

- ✓ 都市には、それぞれの成り立ちと特色。
- ✓ 人や経済、文化などの集積、地理的位置や周辺地域との関係など都市を形作るものにより、それぞれの都市の形。

【自治体構造(役割分担と基礎自治体優先の原則)】

「大阪府自治制度研究会 最終とりまとめ」

- 自治体は基礎自治体と広域自治体で構成し、両者の役割分担と責任分野を明確化。
- 基礎自治体は、住民に身近な存在で、団体自治・住民自治が実効的になされうる存在である必要。
- 基礎自治体優先の原則を徹底し、主役である基礎自治体が身近な行政サービスを総合的に担う。
- 基礎自治体が優先されるのは、基礎自治体は住民から身近であり、住民自治の実効性が広域自治体より高いと想定されるため。



こうした基本認識の下、「知事・市長案」に対し意見を述べる。

大都市制度に関する基本的な方針

知事・市長案	意見
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「大阪都」は広域機能を一元化することで、世界的な都市間競争に打ち勝つ「強い大阪」を実現 ✓ 大阪市を複数の特別自治区に再編し、住民の参政・参画のもと、誰もがいきいきと暮らせる「やさしい大阪」を実現 ✓ 広域行政のリーダーは2人から1人に ✓ 基礎自治体のリーダーは1人から複数に 	<p>◆本来、目指すべき姿は、</p> <p style="text-align: center;">「基礎自治体優先の原則」の徹底 と 「補完性の原理」に則った行動の徹底</p> <p>しかし「大阪都」では……</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 基礎自治体は市町村の権限に満たない <u>「不完全な基礎自治体」</u> ➤ 広域自治体は、都市としての重要な機能を集約し、権限、財源ともに <u>「強力・強大な広域自治体」</u> <p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;"><u>分権に逆行した「集権化」</u></p>

知事・市長案	意見
<ul style="list-style-type: none">✓ 二元行政を解消し、広域行政を一元化。✓ 投資の選択と集中を図ることで、大阪全体の都市機能を充実✓ 世界的な都市間競争に勝ち抜き、大都市圏の成長を支える役割	<ul style="list-style-type: none">◆ 広域の一元化により、<u>2つの「政策エンジン」の1つが消滅し、パワーが低下</u>◆ パワーの低下だけでなく、<u>多様な住民ニーズに応えることが困難</u>になる可能性  <p><u>府民・市民にとって、 大きなマイナスではないか</u></p>

基礎自治体の在り方

知事・市長案	意見
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 大阪市を中核市並みの権限を持つ「特別自治区」に再編し、住民自治が十分に働き、きめ細やかで総合的な行政サービスを提供 ✓ 「特別自治区」は法人格を持ち、公選区長と区議会を設置 ✓ 区割り、公募区長が複数案を検討 	<p>◆ 特別自治区は市町村の権限にも満たない 「不完全な基礎自治体」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村が行う事務の権限の一部は広域 ・広域に一元化される事務に対する住民の声は、区長ではなく都知事に届ける必要 ・財政調整の仕組み次第では、一部の市町村税の課税権は広域 など <p>⇒<u>他市町村の住民との間で「自治の格差」</u></p>
<p style="text-align: center;">（「大阪府自治制度研究会最終とりまとめ」）</p> <p>大阪市の再編について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の身近な基礎自治体として自治機能を充実強化 ・観点として、住民がコントロールできる大きさ ・都区制度を単純に適用するのではなく、普通地方公共団体として完全な自治体とすべきではないか ・歴史的文化的な一体性も踏まえて、行政区への権限・財源の移譲など、基礎自治体に近い自治機能の充実を図ることを検討すべき ・再編により統一性が失われ格差が生じるのではないか 	<p style="text-align: center;">自治機能が充実した基礎自治体を目指すなら</p> <p style="text-align: center;"><u>完全な市町村であるべき</u></p> <p>◆ 仮に再編が必要であるとしても、 都市内分権を進めることにより解決は可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政令指定都市のまま適正規模でブロック化 など

府市再編による効率化（二重行政の解消）

知事・市長案	意見
<p>✓ 二重行政を解消し、効率化、最適化を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「知事・市長案」にも示されているように、既に府市統合本部で検討 ⇒ 制度化まで必要か疑問 ◆ 単に府市に複数存在するからという理由のみで廃していくべきではない ◆ 「二重行政」は悪いものと一括りにせず、住民の利便性や生活を豊かにするような 「充実行政」と 非効率で無駄の多い「悪い二重行政」は しっかり区別して整理すべき。 <p>※「充実行政」⇒ 「良い二重行政」 住民の利便性を高め、住民の生活を豊かにするもの (図書館、病院など) 「悪い二重行政」 非効率なもの、サービスが過剰なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ また、再編により複数の特別自治区で同じような制度や施策を有すれば、 「二重行政」でなく「多重行政」となる恐れ

財政調整制度（税財政制度）

知事・市長案	意見
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 先ずは、大阪独自の「財政調整制度」を目指す。 ✓ 「大阪都」と「特別自治区」とともに必要なサービスを行える財源が安定的に確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「大阪都」は道州制を目指す過渡期 ⇒ 制度化の必要はなく 現行制度で柔軟に対応すべき ◆ 広域自治体と基礎自治体間の財源移転 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>現行制度(予算)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>長が提案し議会が議決</u> ・ <u>民主的で透明性も確保</u> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>財政調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>一定率で配分</u> ・ <u>都が区の財源を吸い上げる疑念</u> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>先の読めない時代にあっては</p>  </div> <p style="text-align: center; font-weight: bold; color: red; margin-top: 10px;">柔軟に対応できる現行制度に優位性</p>

知事・市長案	意見
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特別自治区」間に生じる財政格差を是正 ✓ 都区財政調整制度を参考に検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 東京都区制度は、基礎・広域の役割分担に課題の多い制度 ⇒ <u>都区制度を真似た財政調整制度を検討するのは賢明ではない</u> ◆ 財政面で、 「大阪都」 ⇒ 「大きな影響力」 「特別自治区」 ⇒ 都に依存する「無力な基礎自治体」 <p style="text-align: center;">  基礎自治体機能を充実させるためには </p> <p style="text-align: center;"> 財政調整を必要としない規模等を検討すべき </p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 仮に再編が必要であるとしても、 制度の適用は<u>限定的かつ必要最小限</u>に